

# 道徳科学習指導案

令和6年12月11日(水) 第6校時 3年〇組教室

## I 主題名

○主題名 立場の違いを受け入れる(内容項目:B-(9)相互理解、寛容)

○人権教育 重要課題 (10) インターネット等による人権侵害

○資料名 「言葉の向こうに」(「あすを生きる3」日本文教出版)

## II 考察

### 1 価値観

本主題は、内容項目B-(9)「それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心を持って謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」を基に設定した。

この時期の生徒は、学年が上がるにつれ、ものの見方や考え方が確立するとともに、自分の考えや意見に固執する傾向も見えてくる。自分と他者の意見の違いを明らかにすることを恐れたり、考え方の違いから交友関係に摩擦が生じたりして、悩み、孤立する場合がある。一方で、安易に人の意見に合わせて、自分さえよければよいという考えをもつ場合もある。

そこで、個性を正しく理解するとともに、自ら意志に背いて他に同調するのではなく、自分の意見や考えを伝えること、そしてお互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立って、いろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとする態度を育てることが大切となる。その際、人は自分の意見や考えを守ろうとするあまり、相手を理解することを頑なに避けたり、逆に攻撃したりする心の弱さをもっていることを、心にゆとりをもって客観的に捉え、自分を開くことで自らを高められることを自覚させていくことが必要になる。

### 2 生徒観

(削除)

### 3 教材観 教材名「言葉の向こうに」(出典:「あすを生きる3」日本文教出版)

主人公はヨーロッパサッカーチームのA選手のファンで、インターネットでファンとの交流を楽しんでいる女子学生である。ある試合をきっかけに、心ない書き込みが続いたことに怒った主人公は、自分もひどい言葉で応酬して注意されてしまう。自分の気持ちが理解されないことで改めて顔の見えないネットでの言葉のやり取りの難しさや恐ろしさに直面した主人公は、読み手を忘れてしまった自分に気が付くというあらすじである。

本教材は、異なる立場を尊重することの難しさや大切さを実感できる教材である。主人公が、異なる立場や考え方を受け入れられた場面の気持ちを考えることで、寛容な心で理解し合うことの大切さに気付かせることができる。また、インターネットのファンサイトへの書き込みという身近な例を取り上げているため、生徒がより自分事として捉えることができると考える。

## III 人権教育とのかかわり

人権教育推進資料において、「個人情報の保護の重要性と発信した情報について理解し、ルールやマナーを守って正しく利用しようとする態度を身に付ける」という中学校段階の目標が示されている。情報社会に生きる生徒は、SNS等を通じて、友人や共通の趣味をもった人々と交流をする中で、さまざまな見方や考え方と出会う。そこで、情報を吟味しながら収集・発信し、様々なものの見方や考え方を尊重していく姿勢がより求められる。異なる意見を自分の視点からしか見られなければ、相手の意見を否定して、コミュニケーションのトラブルにもつながる。異なる意見を尊重することは、広い視野から考えた情報発信やよりよいコミュニケーションを可能にすると考えられる。

### 【育てたい能力・態度】

○実践力: いろいろなものの見方や考え方があることを寛容な心で理解し、異なる意見を尊重しながら、豊かな人間関係を構築していこうとする。

#### IV 本時の学習

##### 1 ねらい

自分と違うものの見方、考え方を尊重するために大切なことを話し合う活動を通じて、寛容な心で理解し合うことの大切さに気づき、謙虚に他者から学んでいこうとする意欲を育てる。

##### 2 人権教育の視点

○実践力：情報社会に生きる上で、異なる立場の意見を尊重して、広い視野で物事を考えられるようにする。

##### 3 展開

【★ICT 活用に関する事項】

主な学習活動 <b>主な発問 (◎中心発問 ◇補助発問)</b> 予想される生徒の意識 [S]	○指導上の留意点
<p>1 事例とアンケート結果を知り、本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。 (5分)</p> <p>S：他の人の助言や忠告を謙虚に受け入れているつもりになっている人が多いのではないかな。</p> <p>S：他者の意見を謙虚に受け入れるのは難しいな。</p> <p>S：ネットでは、様々な意見をもっている人がいたな。</p> <p>&lt;めあて&gt; 異なる意見を尊重するために大切なことは何だろう？</p>	<p>○「異なる意見を尊重する」必要感を高めるため、インターネットの誹謗中傷や掲示板が基になってトラブルになった事例、卒業後に多様な価値観をもつ人と関わる機会が増えることを伝える。</p> <p>○他人の助言や忠告を謙虚に受け入れることは、難しいと実感できるように、事前アンケート結果をモニタに提示して、自分たちが他人の意見を日頃どのように受け止めているか振り返ることができるようにする。【★一覧表示】</p>
<p>2 教科書の教材文の範読を聞き、「私」の気持ちの変化を読み取る。 (15分)</p> <p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流する。 (20分)</p> <p>◎「私」は「いちばん大事なことを忘れていた。」と言っているが、どんなことを忘れたのだろう。</p> <p>S：字面だけにとらわれて、読む人の気持ちを考えていなかった。</p> <p>S 自分の考えを押し付けて、言葉の向こうにいる人々のことを考えていなかった。</p> <p>S：直接話している時よりも神経を使わなければいけなかった。</p> <p>S：人それぞれ価値観は違う。</p> <p>S：冷静になるべきだった。</p> <p>◇ (自分の意見にこだわっている時) どうすれば、異なる立場の人を受け入れることができるのか？</p> <p>S：冷静になるまで少し相手と距離をとる。</p> <p>S：相手の気持ちを想像して、相手の意見を理解するように努力する。</p> <p>S：相手から見れば、自分も異なる立場の意見をもっているという点で理解しがたい存在であるという点では同じ。</p>	<p>○場面絵を提示しながら、「必死で反論する私の気持ち」と『「中傷する人たちと同じレベルで争わないで』という書き込みを見た私の気持ち』を確認することで、自分の考えにとらわれて、相手の考えを受け入れず、怒りの気持ちで満ちている「私」に共感できるようにする。</p> <p>○「まあそんなにきつい言い方するなよ」「言葉の向こうにいる人々の気持ちを思い浮かべてみて」という書き込みを読んだ後、異なる立場の意見を否定していた「私」が他者の意見を受け入れる姿に変わった点に着目させることで、私の気持ちが大きく変化したことに気付かせる。</p> <p>○自分の意見をワークシートに記述させること、ペアで意見を交換させることで、自分の意見に自信をもてるようにする。</p> <p>○異なる意見を尊重する難しさをより自分事として考えることができるように、自分が加奈子だったら、自分と異なる意見を受け入れることができたのかと問いかける。</p> <p>○主人公の立場で忠告や助言を受け入れるのは容易ではないことを実感できるように、A選手を自分が好きなアイドルや趣味に置き換えて考えさせる。</p> <p>○活発な意見交流をするために、小グループで思っ</p>

<p>S : 他人の考えを尊重することで、自分の視野を広げられると意識する。</p> <p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについても一度考える。 (5分)</p> <p>S : 冷静になって、相手の気持ちを考えること。</p> <p>S : 異なる意見を尊重することで自分を高めると自覚すること。</p>	<p>たことを伝え合わせる。内容がまとまったグループにホワイトボードを渡して、ポイントをメモさせる。</p> <p>○様々な視点の意見を全体共有できるように、授業者がグループの代表者に意図的な指名をする。</p>
<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えの振り返りをする。 (5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今までの自分はどうだったか。</p> <p>これからは、どのようにしていきたいか。</p> </div>	<p>○本時の学習を振り返り、よりよい自己の考えや生き方への思いや願いが深められるように、今までの自分とこれからの自分について記述するように促す。</p> <p>○短文で終わっている生徒には、「なぜそう思うのか」問いかけ、考えを深められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分の意見に固執する弱さを認めた上で、異なる意見を尊重しようとする意欲が高まっている。</p> <p><b>【実践力】</b></p> </div>
<p>&lt;振り返り&gt;</p> <p>S : 今までの自分は、自分の考えに固執してしまい、自分と異なる意見を受け入れることが難しかった。これからは、いろいろな考え方や立場があって当たり前と思ったり、異なる意見を知ることによって自分の視野が広がると思ったりすることで、自分と異なる意見にも耳を傾けたい。</p>	

<p>◆評価の視点</p> <p>〈物事を多面的・多角的に考えている様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートや話し合いの様子から、異なる立場を尊重するために大切なことについて、友達の多様な意見を踏まえながら、複数の視点を基に考えている姿を見取る。</li> </ul> <p>〈道徳的価値についての理解を自分自身との関わりで深めている様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートや発言から、寛容な心で理解し合うことの難しさについて、自分のこととして捉え、考えようとしている姿を見取る。</li> </ul>
---